

## 第 14 回 PACS Innovation 研究会のご案内

PACS Innovation 研究会は、PACS を導入（更新）する際に選択肢として我々が考えるべきテクノロジーについての情報共有を目的として活動しています。

今回の研究会のテーマは「線量管理システム」。先ごろ「厚生労働省は6月6日、CTなどの放射線診療に関し患者の被ばく線量記録と患者への説明を医療機関に義務づける方針を決定。同省は医療法を改正し、準備期間を数年設けた上で施行。また、CT等、被ばく線量が比較的高い検査について線量の記録を義務づける方針を発表」と報じられました。

そこで今回、PACS Innovation 研究会では、検査の「線量管理システム」と「低被ばく化」について様々な面から検討し、学び、意見交換を行いたいと考えます。皆様におきましては公私共に大変お忙しい時期とは存じますが、この機会に是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。

開催日時：2018年9月15日（土） 13:00～17:30

会場：長崎みなとメディカルセンター（長崎市民病院） 醫聖ホール 長崎県長崎市新地町6-39

受付開始時間： 12時30分～（当日受付のみです 参加事前登録の必要はありません）

参加費：1,000円（資料代）

更新ポイントあり：医療情報技師 1、医用画像情報専門技師 2、医用画像情報精度管理士 5 point  
情報交換会（希望者のみ） 18:30～ 会場周辺 会費 4000円程度

1 13:00-13:30 「RDSR について」 アレイ 山中 誠一

2 13:30-14:10 「間違わない被ばく線量管理システム選択」 キュアホープ 島田 隆正

3 14:20-15:50 「線量管理システムの特徴」 協賛各社より講演

4 15:50-16:20 協賛各社による機器展示

5 16:20-16:50 「医療被ばく低減施設認定取得までの道」 佐世保中央病院 伊藤 淳一

6 16:50-17:10 「当院における診断参考レベルの検証」 長崎大学病院 宮田 義之

### 機器展示（協賛）ブース

ファインデックス シーメンスヘルスケア EIZO PHILIPS バイエル J-MAC 東洋メディック  
アレイ キヤノンメディカルシステムズ（順不同）

\* 研究会終了後に「情報交換会(予約制)」を行います。ホームページの申し込みフォームよりお申し込み下さい。  
最新の情報はホームページをご確認ください。

主催：PACS Innovation 研究会

後援：長崎県診療放射線技師会 日本医用画像管理学会

PACS Innovation 研究会ホームページ：<http://pacs.main.jp/>

facebook ページ：<https://www.facebook.com/PACS.Innovation>

Twitter：[@PACS\\_Innovation](https://twitter.com/PACS_Innovation)

LINE：[@ZQC6200R](https://line.me/tv/p/@ZQC6200R)